

令和4年度 市民意識調査 反映状況

	調査項目（実施課）	反映状況
1	市民満足度調査 （企画課・広報課）	市民満足度調査の設問は、第3次静岡市総合計画に基づく本市の市政に対する市民満足度を測る項目であり、一部の設問については、総合計画の評価項目に設定されていることから、調査結果を総合計画の進捗状況把握等へ活用している。
2	マイナンバーカードの 利用・取得状況について （デジタル化推進課・戸籍管理課）	<p>《令和5年4月～ 実施》</p> <p>「マイナンバーカードを何に利用しましたか」という問いでは、マイナポイントの利用申込が36.9%と高く、令和4年度に各区役所に設置した申込支援窓口では10万件を超える支援希望があった。引き続き多くの申込支援希望が予想されるため、令和5年度も継続して申込支援窓口を実施している。</p> <p>また、「マイナンバーカードを持っていない」理由として、「申請手続きが面倒だから」が36.2%、また、「申請方法が分からないから」が6.2%であった。</p> <p>令和4年度は、大型商業施設で18回、地元企業で15回など積極的に申請機関を拡大し、マイナンバーカードの申請率は、令和5年4月末で79.73%となった。</p>
3	静岡版「もったいない運動」 について （ごみ減量推進課）	<p>《令和5年4月 実施》</p> <p>「市民のみなさん(自分)がごみ減量やリサイクルなど4Rに取り組めるようにするためには、今後市は何をすべきだと思いますか。」という問いに対して上位を占めた回答のうち、「子どもたちを中心とした環境教育の強化」「4Rの周知・啓発」に対応するため、市内の小・中・高・大校生に対する出前授業を強化するとともに、令和5年度からは、未就学児を対象とした出前授業の展開を新規に開始し、子ども向けの環境教育の充実を図った。</p>
4	市民活動について （市民自治推進課）	<p>《令和5年3月 実施》</p> <p>「自治会・町内会による活動に参加したことがありますか」「NPOやボランティア活動に参加したことがありますか」の質問のいずれも「ない」と回答した方(264人)を対象に「参加していない理由」を分析したところ、「情報が得られない」ことを挙げる市民の割合が33.0%であったことから、「情報が得られないために参加できていない」というケースを減らしていくことを「第4次静岡市市民活動促進基本計画」の成果指標の1つとした。</p>
5	子ども食堂について （子ども未来課）	<p>《令和5年4月～ 検討中》</p> <p>子ども食堂を「知っていた」人は81.2%と認知度は高いものの、「市内に子ども食堂があること」については「知らなかった」人が67.3%であった。また子ども食堂を「利用したことがない」人(93.3%)のうち、「子ども食堂がどこにあるかわからない」を理由とした人が40.8%と最も多かった。</p> <p>また、開催の手伝いや寄付等の支援など、子ども食堂の活動に参加したいと思う人が27.1%であった。</p> <p>このような調査結果から、市内の子ども食堂を利用したい方、子ども食堂の活動に興味がある方や寄付をしたい方などが、必要な情報を得られるよう、子育て応援総合サイト内に子ども食堂に関する特設ページの設置を予定している。またSNS等で子ども食堂に関する情報発信を強化していく。</p>
6	再犯防止推進事業について （福祉総務課）	<p>《令和5年3月 実施》</p> <p>令和5年3月23日に策定した第2次静岡市再犯防止推進計画における成果指標の設定に反映した。</p> <p>市民意識調査における「犯罪をした人の立ち直りに関する協力意向」について、犯罪をした人の立ち直りに「協力したい」と思う市民の割合が12.4%であったこと踏まえ、当該計画6年間の目標として、同割合を20.0%以上とした。</p> <p>また、「保護司の認知度」について、保護司の名前も活動内容も知っている市民の割合が38.6%であったことを踏まえ、目標として同割合を50.0%以上とした。</p>